



2026 年 9 月 14 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 J R C
代 表 者 名 代表取締役社長 浜口 稔
(コード番号：6224 東証グロース市場)
問 合 せ 先 経営管理本部長 常川 陽介
(TEL 06-6543-8680)

当社連結子会社による株式の取得（孫会社化）及び 特定子会社の異動に関するお知らせ

株式会社 J R C（本社：大阪市西区、代表取締役社長：浜口 稔、以下「当社」）は、2026 年 9 月 14 日開催の取締役会において、下記のとおり、当社の連結子会社である株式会社 J R C E & E（本社：川崎市幸区、代表取締役社長：築山 英明、以下「J R C E & E」）が、株式会社ナンヨートレイディング（本社：東京都文京区、代表取締役社長：蜂谷 忠正、以下「ナンヨートレイディング」）の全株式を取得し、子会社化することを決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、ナンヨートレイディングは、資本金の額が当社の資本金の額の 100 分の 10 以上に相当するため、当社の特定子会社に該当することとなります。

記

1. 本株式取得の目的及び背景

J R C E & E は、環境プラント及び発電プラント向けの各種機器・設備について、設計・製作・据付・メンテナンスまでを一貫して手掛けております。また、同社の子会社である向井化工機株式会社は、水処理プラントの設計・製作・施工・メンテナンスを手掛けております。

このたび株式を取得するナンヨートレイディングは、主に静岡から青森にいたる東日本エリアにおいて、し尿処理施設等で使用される特殊ポンプの保守・更新を手掛けております。約 60 年の業歴を有し、主要メーカー各社との安定した仕入・協力関係のもと、約 100 施設の保守・更新業務を担っております。

本株式取得により、J R C E & E にとってこれまで限定的であったし尿処理施設市場への参入を実現するとともに、グループ各社の技術・サービス機能とナンヨートレイディングの顧客基盤及び販売・メンテナンス機能を組み合わせ、下水・し尿処理施設における受注機会の拡大と、周辺設備を含む提供サービスの拡充を目指します。

当社グループは、本株式取得を通じて環境プラント領域の事業基盤を強化するとともに、事業領域及び顧客基盤の拡大を進め、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

2. 株式を取得する子会社の概要

(1)	名 称	株式会社 J R C E & E		
(2)	所 在 地	神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番地		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 築山 英明		
(4)	事 業 内 容	環境・エネルギー・産業プラント分野における設計・製造・据付工事からメンテナンスまでの総合エンジニアリング事業		
(5)	資 本 金	10 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	1963 年 10 月 24 日		
(7)	大株主及び持株比率	株式会社 J R C 4,000 株 (100.0%)		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社は当該会社に 100%出資しております。	
		人 的 関 係	当社の取締役 1 名及び従業員 1 名が当該会社の取締役を兼務しており、当社の取締役 1 名が当該会社の監査役を兼務しております。また、当社から当該会社へ出向している従業員がおります。	
		取 引 関 係	当社は当該会社に対して、商品の売買及び資金の貸付等の取引を行っております。	
(9)	当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決 算 期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期	2026 年 2 月期
	純 資 産	1,075,704 千円	1,560,833 千円	1,757,069 千円
	総 資 産	1,561,572 千円	2,117,586 千円	2,232,395 千円
	1 株 当 た り 純 資 産	268,925.88 円	390,208.29 円	439,267.30 円
	売 上 高	1,876,168 千円	1,560,833 千円	1,650,926 千円
	営 業 利 益	435,968 千円	441,012 千円	264,816 千円
	経 常 利 益	386,844 千円	421,106 千円	266,007 千円
	当 期 純 利 益	241,832 千円	488,141 千円	193,945 千円
	1 株 当 た り 当 期 純 利 益	60,457.91 円	122,035.30 円	48,486.33 円
	1 株 当 た り 配 当 金	－ 円	－ 円	－ 円

(注) 当該会社は、2026 年 3 月 1 日付で、株式会社高橋汽罐工業を存続会社、J R C C & M 株式会社及び株式会社セイコーテックを消滅会社とする吸収合併を行い、商号を株式会社 J R C E & E に変更しております。上記の最近 3 年間の経営成績及び財政状態は、吸収合併前の株式会社高橋汽罐工業の決算に基づくものであり、2026 年 2 月期は決算期変更に伴い事業期間が 11 カ月となっております。

3. 異動する孫会社の概要

(1) 名 称	株式会社ナンヨートレイディング
(2) 所 在 地	東京都文京区小石川 5 丁目 23 番 5 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 蜂谷 忠正
(4) 事 業 内 容	水処理施設向け特殊ポンプの販売・設置・保守メンテナンス

(5)	資 本 金	30百万円		
(6)	設 立 年 月 日	1965年3月19日		
(7)	大株主及び持株比率	大株主が個人であり、守秘義務契約を締結していることから開示を控えさせていただきます。		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	該当事項はありません。	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決 算 期	2023 年 10 月 期	2024 年 10 月 期	2025 年 10 月 期
	純 資 産	390,861 千円	445,282 千円	495,401 千円
	総 資 産	552,396 千円	653,894 千円	704,954 千円
	1 株 当 たり 純 資 産	6,514.34 円	7,421.36 円	8,256.69 円
	売 上 高	269,213 千円	359,913 千円	335,206 千円
	営 業 利 益	19,732 千円	82,403 千円	70,314 千円
	経 常 利 益	19,765 千円	82,677 千円	70,614 千円
	当 期 純 利 益	14,768 千円	53,709 千円	49,347 千円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	246.14 円	895.15 円	822.44 円
	1 株 当 たり 配 当 金	－ 円	－ 円	－ 円

4. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏 名	複数の個人であり、守秘義務契約を締結していることから開示を控えさせていただきます。
(2) 住 所	
(3) 上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	当社との間に記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0 %)
(2) 取 得 株 式 数	60,000 株 (議決権の数：60,000 個)
(3) 取 得 価 額	当事者間の守秘義務により非開示とさせていただきます。なお、取得価額は実施したデューデリジェンス等の結果を踏まえ、当社にて策定した事業計画をもとに、公平性及び妥当性を確保するために第三者評価機関による DCF 法による株式価値算定の範囲内で、相手先と協議の上決定しております。
(4) 異動後の所有株式数	60,000 株 (議決権の数：60,000 個)

	(議決権所有割合：100%)
--	----------------

6. 日 程

(1) 取締役会決議日	2026年9月14日
(2) 契約締結日	2026年9月14日
(3) 株式譲渡実行日	2026年10月1日(予定)

7. 今後の見通し

本件が連結業績に与える影響につきましては、現段階においては軽微であると考えておりますが、今後、必要が生じた際には、その内容を速やかに開示いたします。

以上

株式会社JRC

(東証グロース:6224)

当社連結子会社による株式の取得 (孫会社化)に関するお知らせ

2026年9月14日



JAPAN
ROLLER
CORPORATION

株式会社ナンヨートレイディングの概要

会社概要

会社名	株式会社ナンヨートレイディング
本社所在地	東京都文京区小石川5丁目23番5号
代表者	代表取締役社長 蜂谷 忠正
設立日	1965年3月19日
資本金	30百万円
事業内容	水処理施設向けの特殊ポンプ販売・設置・保守メンテナンス
許認可	建設業許可 東京都知事許可(般-7) 第090308号

取扱製品イメージ

■ 破砕ポンプ



■ 汚泥移送ポンプ



し尿処理施設向け特殊ポンプの保守メンテナンスに強み
東日本エリア約100施設との安定した取引基盤を保有

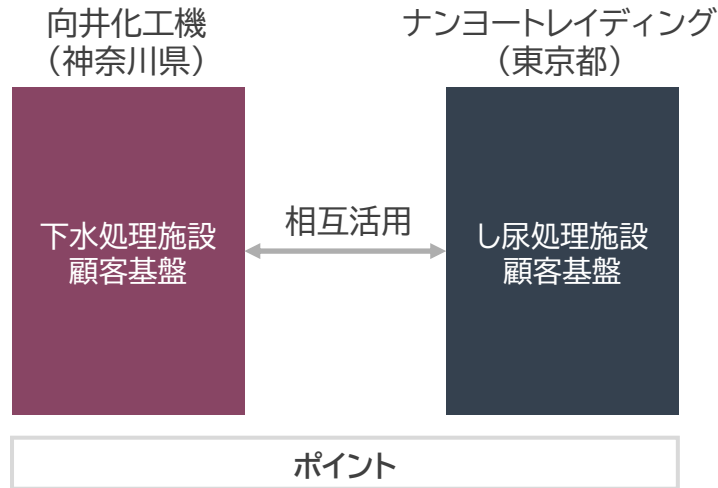
狙い・シナジー効果

水処理プラント領域における 事業領域の拡大



し尿処理施設市場への展開により、
類似市場へ進出し成長機会を獲得

水処理プラント領域を中心とした 顧客基盤の相互活用



- ・東京・神奈川に拠点を有する両社の営業・現場対応力を相互活用し、特殊ポンプ・設備更新工事・保守サービス等の相互提案を推進

下水処理施設・し尿処理施設双方の
顧客基盤を活用し、受注を拡大

グループ技術・サービス機能を 活用した提供価値の向上

ナンヨートレーディングが有する
し尿処理施設顧客基盤

水処理設備以外の周辺設備のご相談に対して、
顧客ニーズに応じて各種サービスを提供

JRC E&E
エンバロメント&エネルギー

特徴・強み

- ・コンベヤ・付帯設備の設計・製作・施工・メンテナンス
- ・ボイラー設備中心のメンテナンス・現地施工力

コンベヤ・ボイラー等の周辺設備を
含めた総合的な設備対応を実現